

小規模事業者 景気動向調査報告書

(令和3年7~9月期)

延岡商工会議所／中小企業相談所

延岡市中央通3丁目5-1

TEL 0982(33)6666

FAX 0982(33)6682

I. 実施概要

1. 調査対象事業所数	125事業所
2. 回答事業所数	65事業所
3. 回答率	52.0%
4. 業種別内訳	
製造業	11事業所
建設業	6事業所
卸売業	5事業所
小売業	28事業所
サービス業	15事業所
合計	65事業所

5. 実施時期

令和3年 7月から9月

6. 調査対象期間

令和3年 9月～11月（第2四半期）

7. 調査内容

調査対象期間である第1四半期について前年同期比、前期比、来期見通しの売上（受注）状況、採算（経常利益）、資金繰り、材料仕入価格、雇用（労働力）状況、設備投資計画、業況の各項目についての状況。

（D I 値の集計）

※ D I 値（景況判断指数）について

D I 値は、売上、採算、資金繰り、仕入価格、雇用状況、設備投資、業況の各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気、弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

$D I = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

売上：（増加）－（減少）

採算：（好転）－（悪化）

資金繰り：（好転）－（悪化）

仕入価格：（低下）－（上昇）

従業員：（不足）－（過剰）

設備投資：（拡大）－（縮小）

業況：（好転）－（悪化）

8. 調査方法

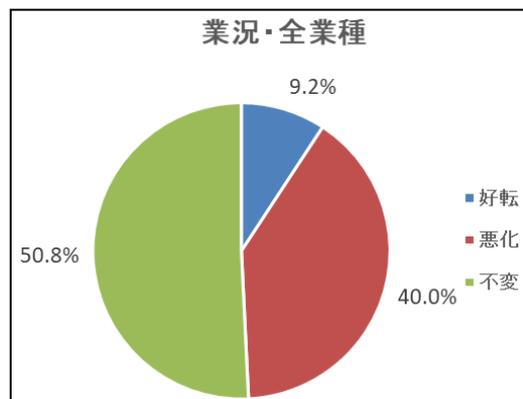
調査対象事業所に対して、調査票を郵送しファクシミリ及び電子メール等で回収、当所にて集計、分析を行う。

Ⅱ. 概況

1. 全業種の業況

全業種の業況判断として、前年同期比（令和2年7月～9月）のD I値は▲30.8ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は9.2%、
悪化したと回答した事業所が40.0%、
変わらないと回答した事業所は50.8%だった。



令和2年7～9月の前年同期比について、主に製造業からは受注工事の増加により売上が好転したという回答が複数あったものの、今年度8月に新型コロナウイルス感染症の感染者数が急激に増加した事に伴い、県内緊急事態宣言や飲食店等への営業時間の短縮要請が発令され、不変・悪化と回答した事業所が全体の9割を占めた。

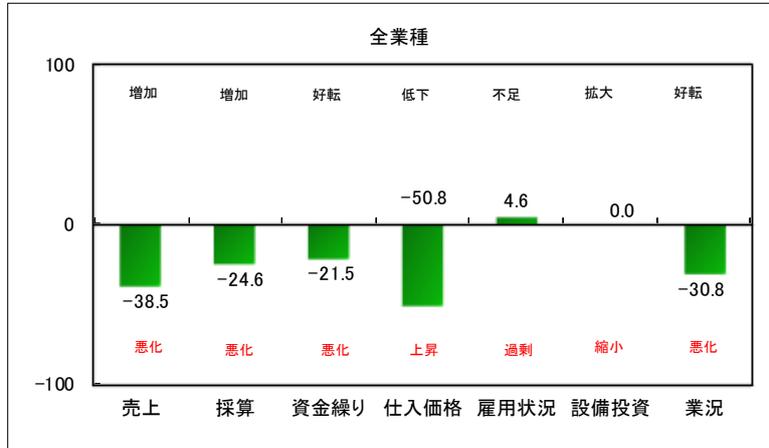
	R2. 7～9 前年同期比	R2. 4～6 前期比	R3. 10～12 見通し
全業種	▲30.8	▲33.8	▲4.6
製造業	18.2	18.2	36.4
建設業	▲16.7	0.0	0.0
卸売業	▲20.0	▲60.0	▲40.0
小売業	▲46.4	▲53.6	▲17.9
サービス業	▲46.7	▲40.0	0.0

来期見通し（令和3年10～12月）のD I値については、▲4.6ポイント。9月末に県内緊急事態宣言、飲食店等への営業時間の短縮要請が終了し、感染数は落ち着いている為、年末の繁忙期に向けて、業況の改善を期待する声がある一方で、新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、再び景気悪化の可能性もある為、先行きは不透明と回答する事業者も多かった。

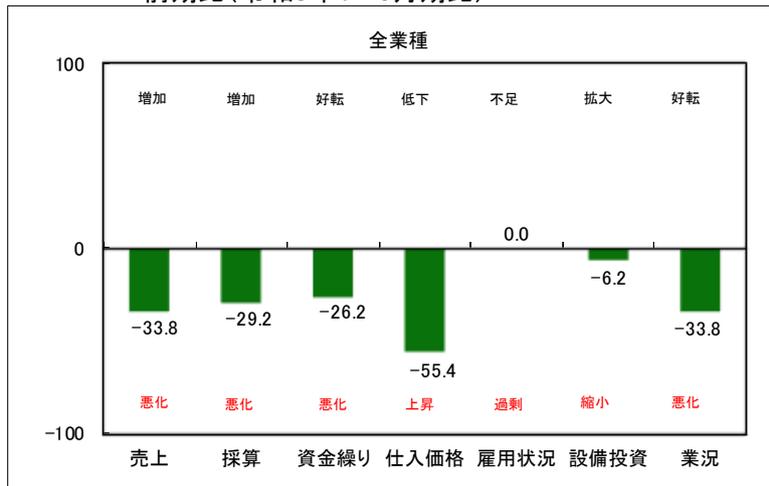
市内景気動向

全業種

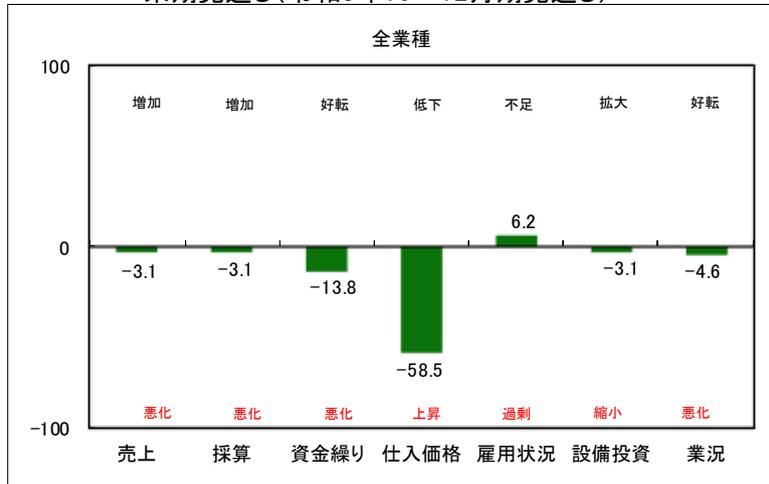
前年同期比(令和2年7~9月期比)



前期比(令和3年4~6月期比)



来期見通し(令和3年10~12月期見通し)

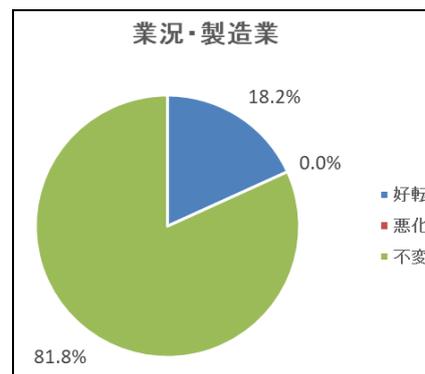


2. 業種別の概要

- ① 製造業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が18.2ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は、18.2%、
悪化したと回答した事業所が0.0%、
変わらないと回答した事業所が81.8%だった。

来期見通しD I 値は36.4ポイントで、好転の見通し
となっている。



○主な意見

【広告装置製造業】

・「イベント等の中止・延期により、受注が減少した。」

【金属加工業】

・「仕入価格上昇に苦心し、販売価格に転嫁したことで売上は増加したが、販売量は低下。」

【プラスチック加工業】

・「注文が大幅に増加したが、機械や人員不足の為、10~20%増加がやっとであった。」

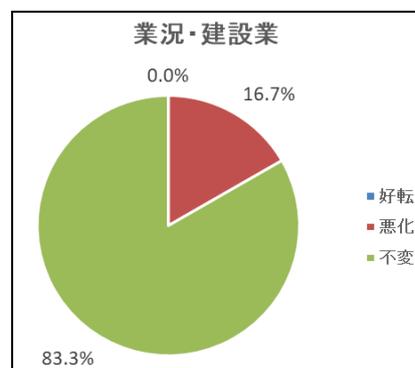
【各種機設備製作、組立業】

・「今後も仕事量は増える予定だが、材料の高騰が続く見込みのため、業況は不変。」

- ② 建設業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲16.7ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は0.0%、
悪化したと回答した事業所は16.7%、
変わらないと回答した事業所は83.3%だった。

来期見通しのD I 値は、0.0ポイントで、不変の見通しと
なっている。



○主な意見

【土木工事業】

・「仕入価格の高騰による経営の悪化。」

【土木・管工事業】

・「工事受注高の維持で不変。」

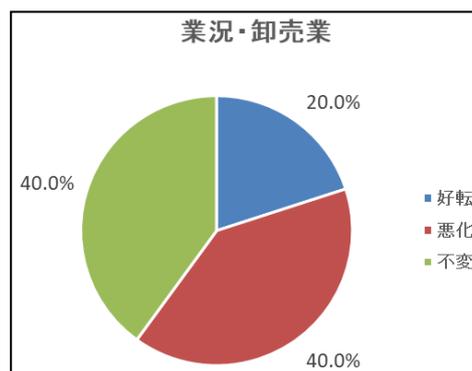
【土木工事業】

・「受注量を確保しているため、業況としては、変化がない。」

③ 卸売業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲20.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は20.0%、
悪化したと回答した事業所が40.0%、
変わらないと回答した事業所は40.0%だった。

来期の見通しD I 値は、▲40.0ポイントで、
悪化する見通しとなっている。



○主な意見

【木材卸売】

・「大型受注により、増収増益した。」

【食料品卸売】

・「売上が伸びない時期であるが、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントが中止でより売上が減少した。」

【文房具卸売業】

・「各メーカーから値上げの連絡が来ており、利益確保が難しい。」

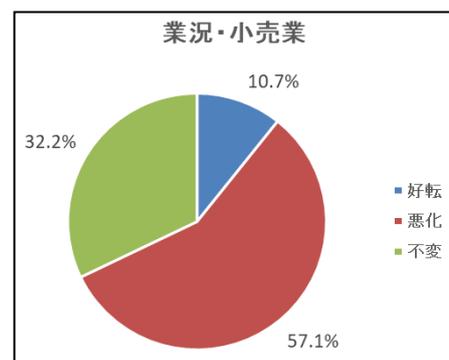
【建設、建築設備資材卸売業】

・「公共工事の発注は出始めているが、価格競争が厳しい。」

④ 小売業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲46.4ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は10.7%、
悪化したと回答した事業所は57.1%、
変わらないと回答した事業所は32.2%だった。

来期の見通しD I 値は、▲17.9ポイントで、
悪化の見通しとなっている。



○主な意見

【自動車販売業】

・「コロナによる不景気の為、売上の減少と仕入価格が上昇した。」

【寝具小売業】

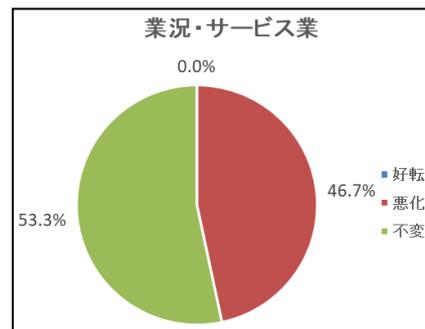
・「8月のお盆明けのコロナの感染拡大のときに、新規集客や来店率低下があったが、リピート率がやや上回っていたため持ち直した。」

【花・植木小売業】

・「コロナの影響により、ブライダル等に影響が続いている。」

⑤ サービス業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲46.7ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は0.0%、
悪化したと回答した事業所は46.7%、
変わらないと回答した事業所は53.3%だった。



来期見通しD I 値は、0.0ポイントで、不変の見通しとなっている。

○主な意見

【写真館業】

・「コロナの影響によるブライダル部門を他部門でカバーし、売上を維持した。」

【衣服裁縫修理業】

・「閑散期にコロナの影響が重なり、大幅に減少した。」

【美容業】

・「先行きは不透明であるが感染対策を行い、売上維持に努める。」

【美容業】

・「来客状況は好転しているが、人手不足による受注減となっている。」

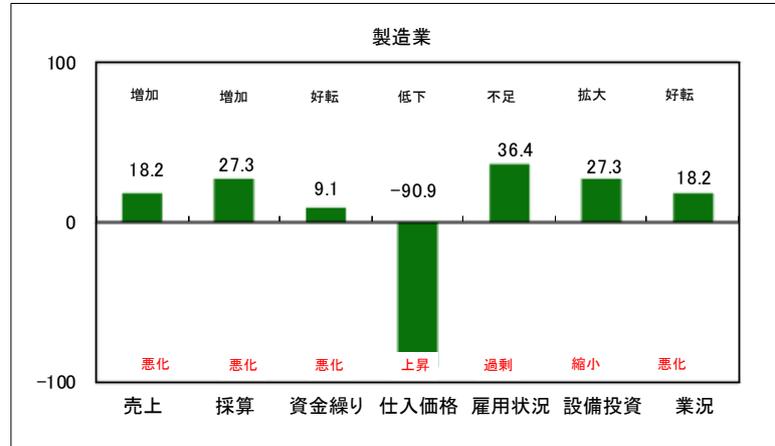
【美容業】

・「感染者数がこのまま減少し、イベントが始めれば、景気は良くなるかもしれない。」

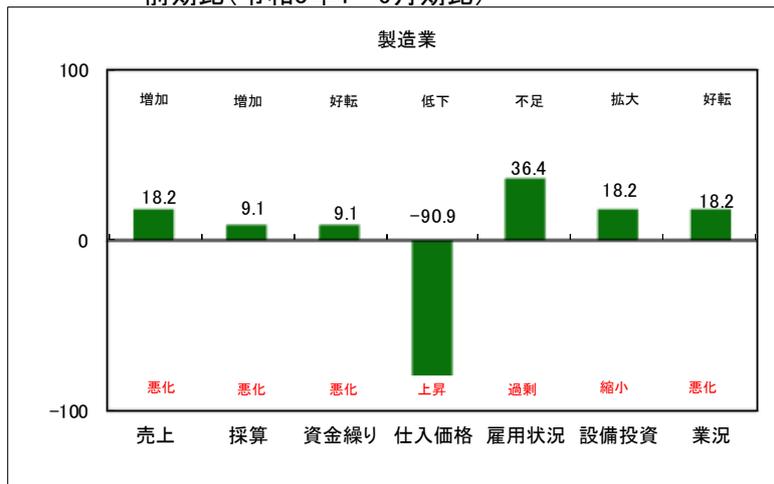
業種別景気動向

製造業

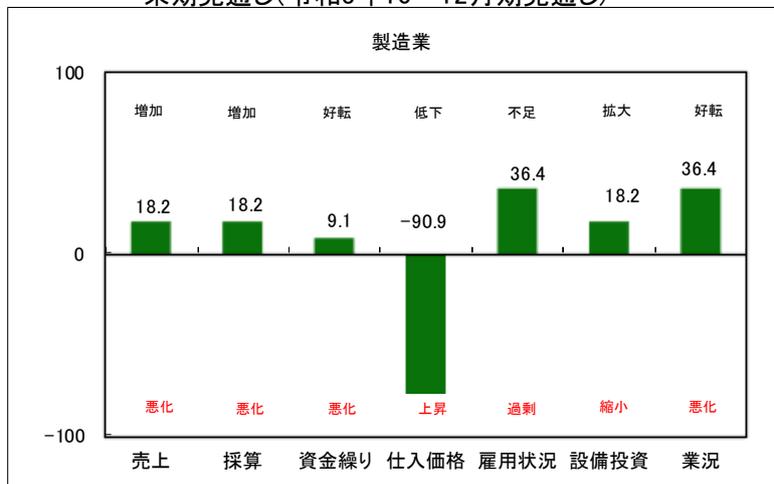
前年同期比(令和2年7~9月期比)



前期比(令和3年4~6月期比)



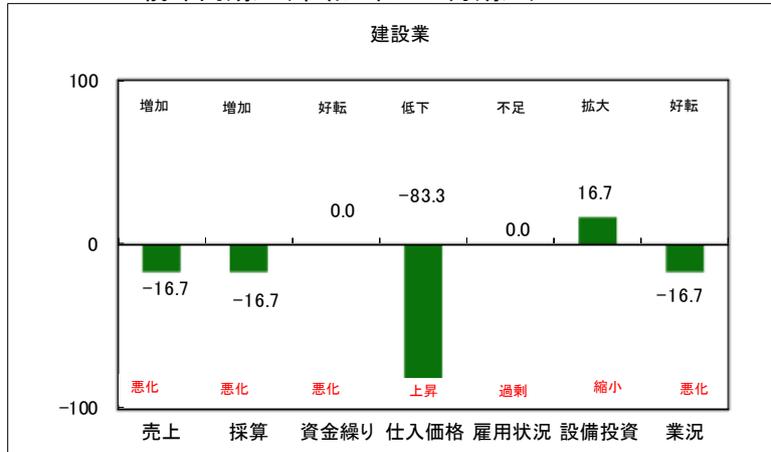
来期見通し(令和3年10~12月期見通し)



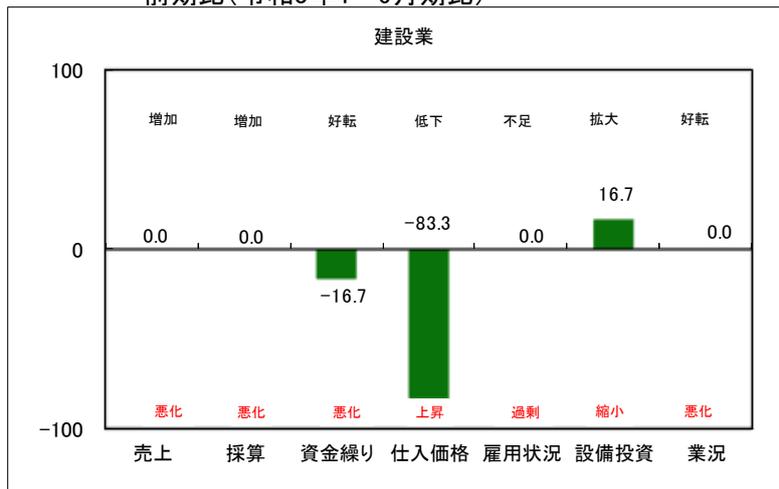
業種別景気動向

建設業

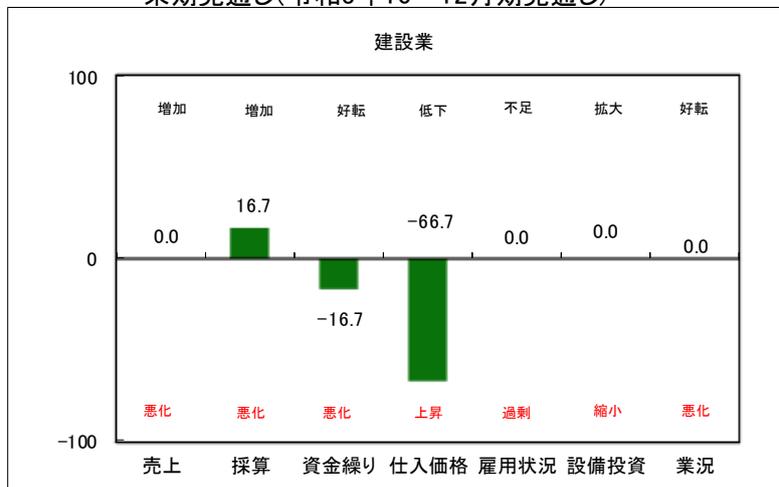
前年同期比(令和2年7~9月期比)



前期比(令和3年4~6月期比)



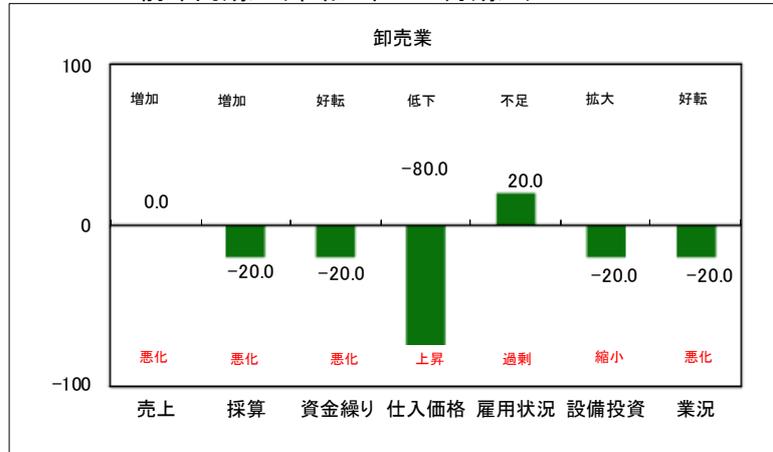
来期見通し(令和3年10~12月期見通し)



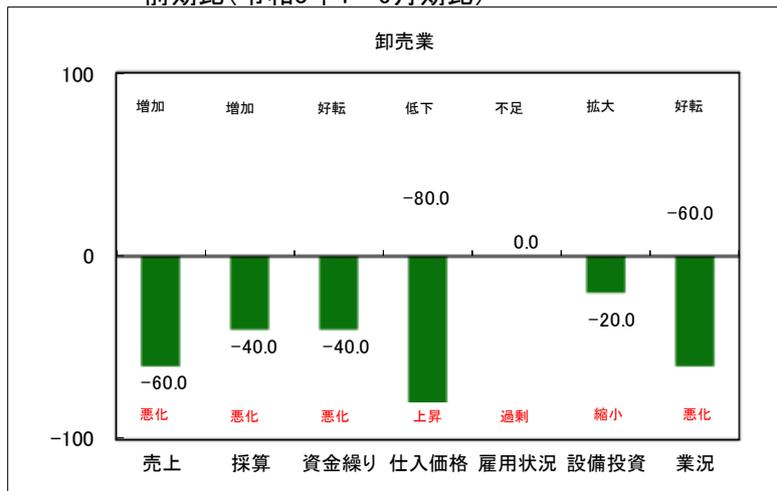
業種別景気動向

卸売業

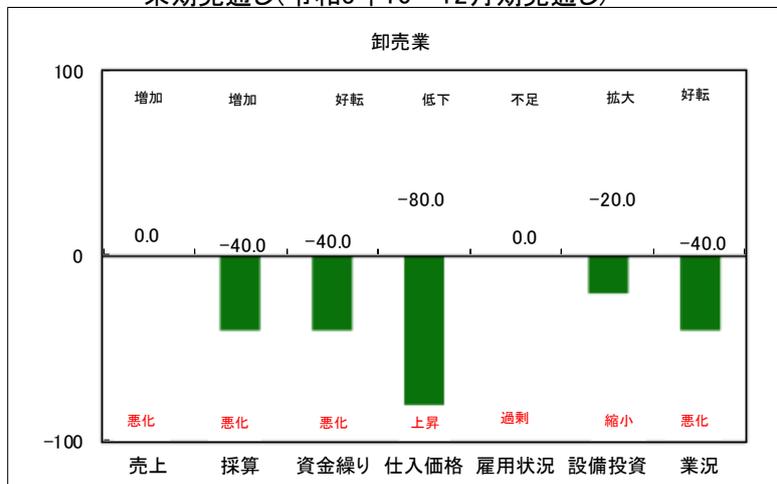
前年同期比(令和2年7~9月期比)



前期比(令和3年4~6月期比)



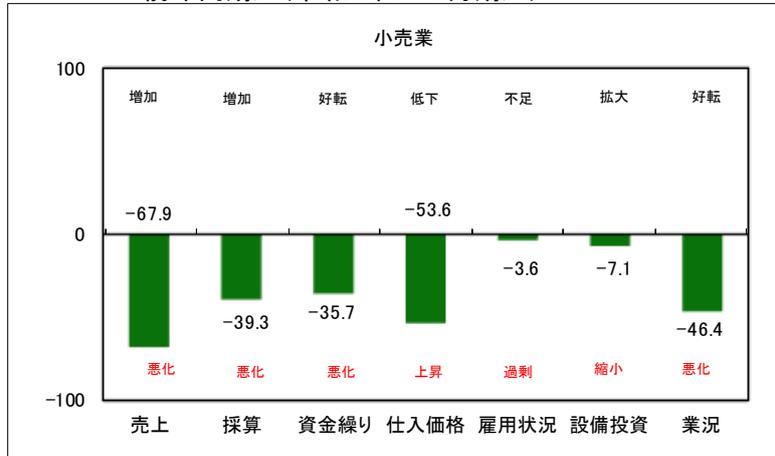
来期見通し(令和3年10~12月期見通し)



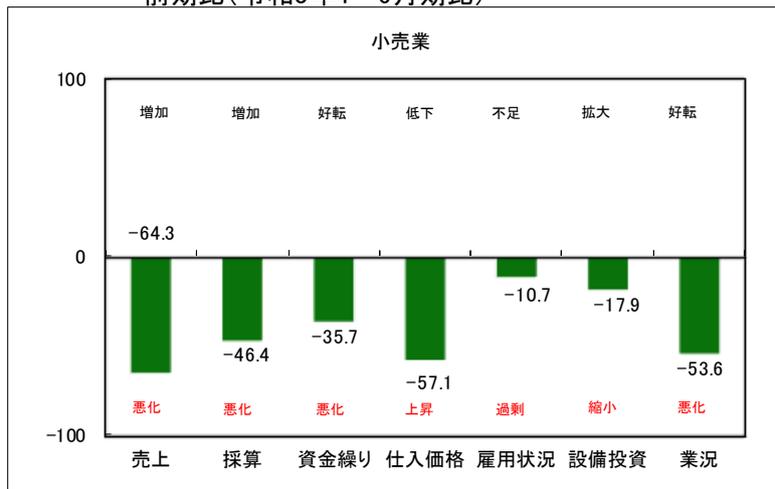
業種別景気動向

小売業

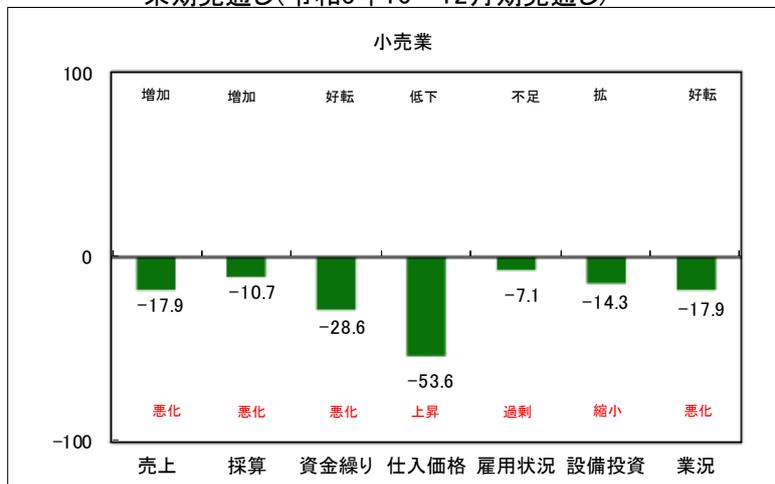
前年同期比(令和2年7~9月期比)



前期比(令和3年4~6月期比)



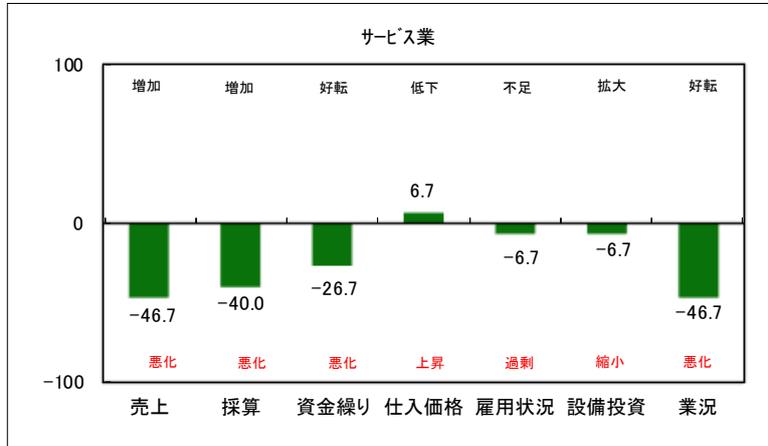
来期見通し(令和3年10~12月期見通し)



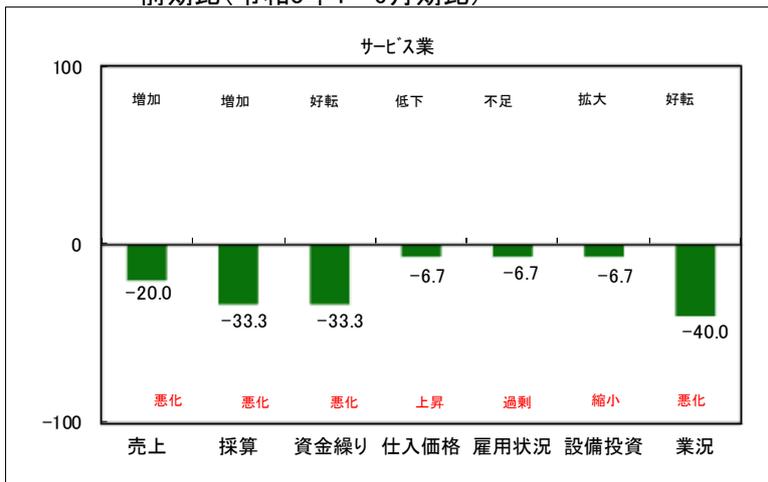
業種別景気動向

サービス業

前年同期比(令和2年7~9月期比)



前期比(令和3年4~6月期比)



来期見通し(令和3年10~12月期見通し)

